

経営比較分析表

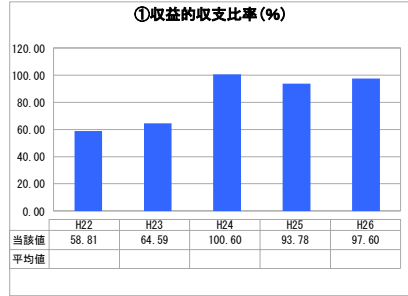
熊本県 合志市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bc1	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	76.08	100.02	2,310

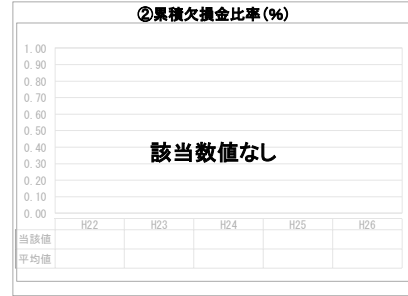
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
58,873	53.19	1,106.84
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
44,940	8.46	5,312.06

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	平成26年度全国平均

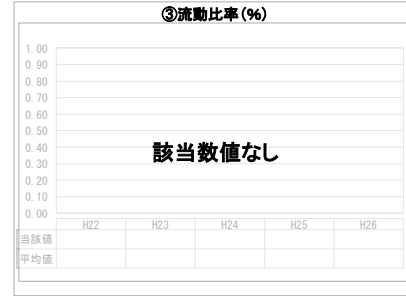
1. 経営の健全性・効率性



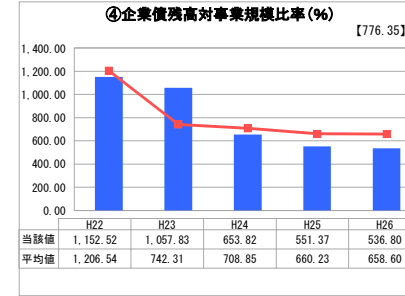
「単年度の収支」



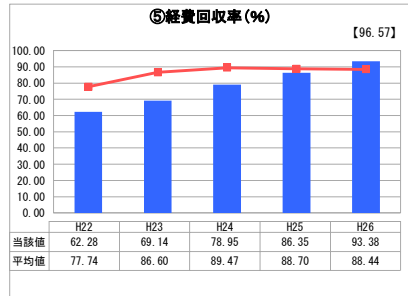
「累積欠損」



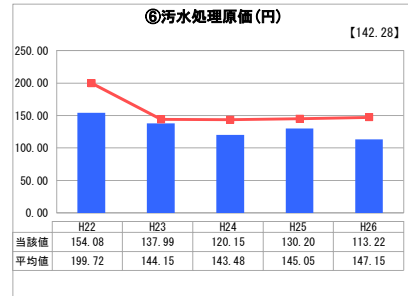
「支払能力」



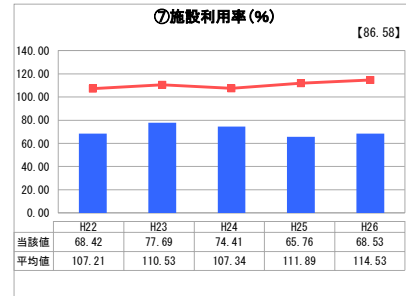
「債務残高」



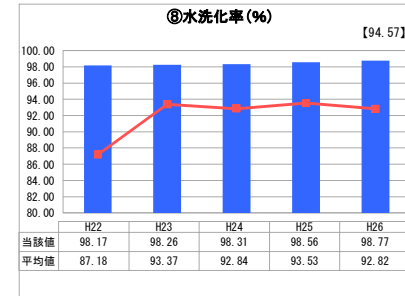
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

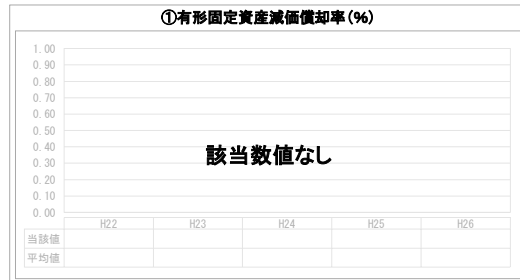


「施設の効率性」

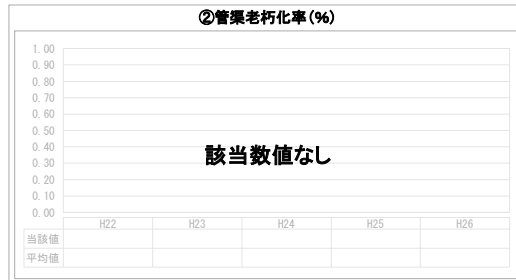


「使用料対象の捕捉」

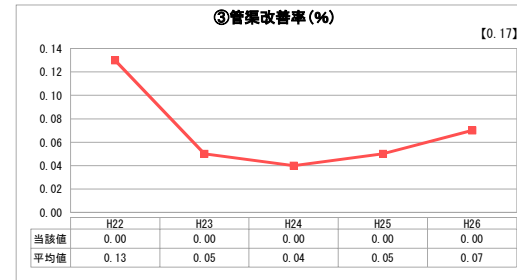
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

※平成26年度については、企業会計移行に伴う打ち切り決算のため、参考数値となる。

- ・収益的収支比率等の改善(要因)
 - ①平成24年度より料金窓口を外部委託したことによる人件費等の削減、及び資本費の減に伴うもの。
 - ②平成25年度より経費回収率を合志市における下水道事業全体で目標値を約88%とし、基本料金16.7%アップ・超過料金20%アップの料金改定を行った。
 - ③地方公営企業会計移行等による繰入金の増
 - ④平成22年度から平成25年度にかけて約二千人の人口増、及び料金改定に伴う料金収入増(68百万円増)
- (将来の施策)
平成27年度より単独公共下水道を流域下水道へ接続し、建設改良費や維持管理費をあわせて10年間で約400百万円程度の削減を行う。
また、企業会計化に伴い経営分析を行い、経費回収率を100%とするための適正な料金設定を検討する。

2. 老朽化の状況について

平成28年度より、管路調査によって更新すべきと判断された管渠(市内合計で約800m)等についての測量設計を行い、更生を順次行っていく計画である。

全体総括

処理場が廃止され熊本北部流域下水道に接続し経費削減を図っているが、接続に係る費用増(流域建設費負担金等約6億円、及び処理場廃止に伴う経費等も別途計算中)が10年程度見込まれる。また、下水道の供用開始から30年以上経っており、各施設において老朽化による故障等が懸念されるため、施設の更新計画及び財政計画の見直しが必要となる。水洗化率は98%を超えており、これ以上の改善については費用対効果の検証が必要になる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。